

# —「島ぐるみ会議」全国キャラバン in 神奈川—

## 沖縄は辺野古新基地を拒否する！

### 8月21日(金)18時開場 神奈川県民センターホール

〔資料代〕500円 〔主催〕「島ぐるみ会議」と神奈川を結ぶ会/神奈川平和運動センター

7月16日、仲井真前沖縄知事の辺野古埋立て承認手続きを検証してきた第三者委員会が、「承認手続きに法的瑕疵あり」とする報告を翁長知事に提出しました。全国紙の世論調査でも安倍政権の進める「辺野古移設」方針に反対する意見が多数を占めるようになってきました。しかし政府・防衛省は「手続きに瑕疵はない」と言い張り「夏頃には埋立て本体工事に入る」と公言。辺野古では、現在も基地建設に向けた作業が進み、ボーリング調査が強行され、沖縄県警や海上保安庁の暴力的「警備」でケガ人が続出しています。

『辺野古強行をやめさせよう—沖縄の心をひとつに』をテーマに昨年7月結成された「沖縄『建白書』を実現し未来を拓く島ぐるみ会議」は、翁長沖縄県知事誕生に大きな力を発揮しました。現在も辺野古現地に連日「辺野古バス」を運行、沖縄県内各地域・職域にも「島ぐるみ会議」ができるなど草の根的な拡がりを見せています。この「島ぐるみ会議」執行委員の平良識子さん(那覇市議)を横浜に迎え、「全国キャラバン in 神奈川」を開催します。多くの方の参加を呼びかけます！安倍政権の戦争国家化の最前線で闘う沖縄の人々と連帯し、戦争法案を葬り去ろう！辺野古の埋立てを阻止し、新基地計画を断念させよう！ (2015年7月)

#### 〔プログラム〕

- ◆辺野古のたたかい(映像)
- ◆沖縄からの訴え  
平良識子(「島ぐるみ会議」執行委員、那覇市議)
- ◆報告:翁長知事訪米要請行動の意義  
猿田佐世(新外交イニシアティブ事務局長、弁護士)
- ◆連帯発言(沖縄県人会など)
- ◆9.12 国会包囲の呼びかけ



平良識子さん  
(たいら さとこ)



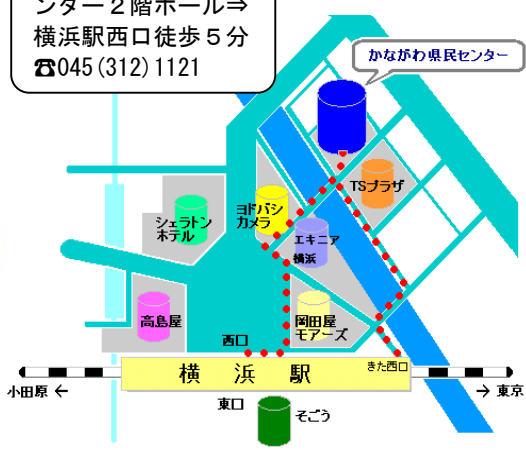
猿田佐世さん  
(さるた さよ)

〔島ぐるみ会議と神奈川を結ぶ会・世話人(敬称略・順不同7/20現在)〕  
 仲宗根保(鶴見沖縄県人会・前幹事長)・高梨晃嘉(元横浜市議)・山田広美(「あごら」編集長)・伊藤成彦(中央大学名誉教授)・日下景子(神奈川県議)・山城保男(横須賀市議)・斉藤竜太(医師)・丹野貞子(女性会議神奈川県本部委員長)・中村優子(前大和市議)・青木直史(全造船機械労組関東地方協議会議長)・阿部知子(衆議院議員)

#### 〔連絡・問合せ〕

090-7402-5245 檜鼻(基地撤去をめざす県央共闘会議) 090-4822-4798 深沢(沖縄講座@横浜)

会場:神奈川県民センター2階ホール⇒  
 横浜駅西口徒歩5分  
 ☎045(312)1121



35,000人以上が参加した5.17県民大会(那覇市内)

## 「島ぐるみ会議」とは・・・

正式名称は「沖縄『建白書』を実現し未来を拓く島ぐるみ会議」。昨年7月27日に結成されました（下の結成アピール参照）。翁長知事を支える「オール沖縄」の象徴的存在です。共同代表は、大城貴代子(元県女性政策室長)・大城紀夫(連合沖縄会長)・呉屋守将(金秀グループ会長)・平良朝敬(かりゆしグループCEO)・高里鈴代(基地・軍隊を許さない行動する女たちの会代表)・友寄信助(元社民党県連委員長)・仲里利信(元県議会議長)・宮城篤実(前嘉手納町長)・宮里政玄(沖縄対外問題研究会顧問)・由井晶子(ジャーナリスト)・吉元政矩(元副知事)、以上11人の幅広い顔ぶれ。8月21日には、この共同代表の一人が来県されます。

### 「島ぐるみ会議」結成アピール

2013年1月28日、沖縄は極めて重要な歴史的意義をもつ「建白書」を日本政府に提出しました。オスプレイ配備撤回と米軍普天間基地の閉鎖及び県内移設断念を求めて沖縄の41市町村すべての首長、議会議長、県議会議長らが署名し、沖縄の総意として、安倍晋三内閣総理大臣に直接要請するという歴史的行動を興しました。

そして去る1月19日、米軍普天間基地の辺野古移設の可否を最大の争点とした名護市長選挙において、「移設ノー」を、名護市民は明確に示しました。にもかかわらず、日本政府は辺野古への建設を強行しようとしています。このことは名護市民と沖縄県民の民意と尊厳を踏みにじり、社会正義と民主主義の基本をも否定するものです。

沖縄の米軍基地は、米軍政下において沖縄の人々の人権を侵害し人道的な配慮を無視して建設されたものです。私たちは1950年代、基本的権利を守るため島ぐるみで米軍支配に対して闘いを始めました。今なお国土面積の0.6%の沖縄に、米軍専用施設の74%が集中する実態は、社会的正義にもとる軍事植民地状態の継続です。沖縄の人々が、人として生きることすら拒まれる基本的権利の侵害であり、経済的、社会的及び文化的発展の自由を否定する構造的差別です。

私たちには、私たちの土地、海、空を守り活かす権利があります。このような権利は、地球上のすべての人々が共有するものであり、人類が長年の努力から勝ち得てきた普遍的な権利です。国連の委員会では、沖縄のことについて沖縄の人々が決める権利があるとし、日本政府に対して、基地を集中させる沖縄への差別と権利侵害を解消していくよう求めています。

沖縄経済と米軍基地の関係について、県民総所得約4兆円のうち、米軍基地関連収入は約5%に過ぎず、基地の返還跡地は、沖縄経済全体を牽引する発展の拠点となっています。たとえば、那覇新都心地区では、雇傭者数が103倍、雇用者所得は69倍と、返還後は著しく増加しています。小禄金城地区や北谷町西海岸地区においても同様に発展しています。米軍基地の返還が、経済発展の自由と自立と平和につながることを、沖縄の人々は気づいています。

基地に支配され続ける沖縄の未来を、私たちは拒絶します。そのような未来を子どもたちに残してはなりません。私たちには、子どもたちに希望のある沖縄の未来を引き継いでいく責務があり、沖縄らしい優しい社会を自らの手で自由につくっていく権利があります。2013年沖縄『建白書』の実現を求め、辺野古強行を止めさせ、未来を私たちのものとするために、沖縄の心をひとつにし、島ぐるみの再結集を、全沖縄県民に呼びかけます。

2014年7月27日

沖縄「建白書」を実現し未来を拓く島ぐるみ会議 結成大会

# 止めよう！辺野古埋立て 9.12国会包囲行動へ！

9月12日(土)14時-15時半  
国会周辺にて

首都圏の市民団体の呼びかけで、1/25に7000人、5/24に15000人の結集で国会包囲行動を展開してきました(右の写真)。首都圏で、さらに大きなヒューマンチェーンを実現し、安倍政権に辺野古新基地断念を迫ろう！

◆主催:止めよう！辺野古埋立て 9.12 国会包囲実行委員会 ◆協力:戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会

